ゆざわ 市議会だより 87

令和８年11月１日



▲「夜空の中の魚たち」皆瀬中学校３年 佐藤康之助さん







▲「逆転勝利」皆瀬中学校３年 小南春馬さん

～みなせスマイルプロジェクト～

皆瀬中学校では、ふるさとを見つめ、地域のよさを発信する「みなせスマイルプロジェクト」を立ち上げ、「みなせスマイルカレー」の企画や地域の観光PRなど、地域貢献活動に挑戦しながら学習を積み重ねてきました。４年目を迎えた今年度は、新たなアイデアの創出や活動の発展のため、地域の方を講師に、「地域のよさや魅力、地域の課題、中学生にできることや期待すること、中学生とともに取り組むことのできる活動」に触れ、地域との継続的な関わりを通し他者と協働しながらよりよい解決策を探る、地域づくりに参画しようとしています。

主な内容

- 第３回定例会について
- 議会フォーラム2026について
- 湯沢市議会行動指針について
- 議会からのおしらせ
- 議会のうごき

ちいき本棚
スマートフォン・タブレット用アプリ「SideBooks」で「ゆざわ市議会だより」がご覧になれます。

発行／秋田県湯沢市議会　　編集／湯沢市議会広報広聴委員会

今年度の議員としゃべろうマチトーーク!! 議会フォーラム 2026 は、各常任委員会においてトークテーマをそれぞれ設定しました。市民の皆さんの声をできる限り具現化するために、今後の委員会活動につなげていきます。

それぞれのテーマで出された主な内容と、そのあとの市議会、委員会のうごきをお伝えします。



日　　時：令和８年７月11日（土）
第一会場：道の駅おがちレストラン二ツ森
第二会場：湯沢市皆瀬庁舎









みなさんの想いを議員が七夕まつりの短冊に飾り付けました







第一会場：道の駅おがち



第二会場：湯沢市皆瀬庁舎

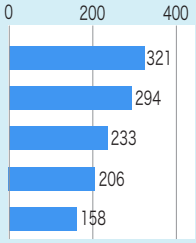
総務財政常任委員会

みんなで身近な地域交通への期待を考える



委員会でイメージするオンデマンド交通の図
（本市でも調査、計画が進められている。）

選択項目	回答数	割合
医療体制の不足	321	58.4%
所得の減少、家計の不安定さ	294	53.5%
移動・交通の不便さ	233	42.4%
心身の健康状態の悪化	206	37.5%
日常の買物や飲食の不便さ	158	28.7%



市が毎年実施している調査のうち、不安を感じている事項に交通は必ず上位に上がっている

どんな声があった？ 意見交換での主な内容

皆瀬会場

① 車がなくても生活できる交通を確保してほしい
② 「ドア・ツー・ドア」など、利用者に合わせた交通が必要
③ ライドシェアなど地域で支える交通を検討してほしい
④ 買い物・通院・観光など、目的に応じた移動手段が必要
⑤ バス・電車の乗り継ぎや運行エリア・本数に課題がある
⑥ 地域の実情に合わせ、持続可能な交通体系を考える必要がある

雄勝会場

① 免許返納後も安心して暮らせる交通を確保してほしい
② バス・電車の本数が少なく、移動の自由が制限されている
③ 買い物・通院など日常生活を支える移動手段が必要
④ スマホを使わなくても利用できるデマンド交通が必要
⑤ タクシー・乗り合いなど、柔軟な移動手段を充実してほしい
⑥ 「移動すること自体が楽しみ」になる交通も必要

まとめ

●両地域の意見を横断してまとめ、意見を次の5つに整理した。

1.免許返納後も安心して暮らせる交通の確保
2.本数・路線・乗り継ぎなど、現在の公共交通の不便さの改善
3.高齢者にも使いやすい、ドア・ツー・ドア型・デマンド型交通の導入
4.買い物・通院だけでない、交流・観光・楽しみまで含めた「移動の目的」の確保
5.地域ごとの実情・需要に応じた、持続可能な公共交通体系の構築

今回の意見交換会では、単に「バスを増やしてほしい」という話だけではなく、車を運転できなくなった後も、その人らしく地域で生活できるが必要であるというところまで意見が広がった。市で今後導入するデマンド交通については注意深く確認し、意見のあった項目に沿った交通体系を目指していきたい。



同じ市内でも交通に対する考え方や現状については、微妙に違います。



教育民生常任委員会

みんなが安心できる 地域医療を考える



市民満足度調査（令和８年度）

「地域医療体制の確立と経済的負担軽減」

重要度	満足度
80.7%	38.0%
「重要」「やや重要」と回答	「満足」「やや満足」と回答

重要度は32施策中2位

※令和8年度　湯沢市市民満足度調査より

どんな声があった？ 意見交換での主な内容

■**今ある医療を将来も維持できるのか**
・医師不足が深刻
・診療体制の縮小が不安

■**必要な医療を受けるために市外へ行かざるを得ない**
・交通費も負担、結局横手に行く
・専門医がいなかったり、救急や夜間対応が難しい

■**子ども・高齢者・家族みんなの負担が増えている**
・家族の通院で時間もお金もかかる
・小児科が少なく不安

■**「予防・健康づくり」がとても大切**
・そもそも病気になりづらい体づくりを
・健康管理、フレイル予防、健康でいられるようにしよう

■**地域の医療を守るために、地域全体で考えよう**
・医療機関に任せるだけではなく、医療従事者のなり手不足や病院までの交通手段の課題など地域全体で考えるべき
・オンライン診療の活用を考えよう



まとめ

地域医療は、私たち一人ひとりの暮らしと命を支える大切な基盤です。今回いただいたみなさんの声を、これからの議会活動や政策提言につなげ、安心して暮らせる湯沢の未来のために委員会活動をしていきます。

9月定例会の一般質問において高橋達委員がこのたびの議会フォーラムでみなさんと改めて課題認識したことについて質しました。また、委員会質疑においても地域医療に関し、各委員から深く質疑を重ね、議論を深めております。

また、担当関係部局との意見交換の場を持ち、フォーラム参加者のみなさんの声を届けました。

このあとも、委員会として事務調査・研究を続け、一般質問や委員会質疑において質していきます。

産業建設常任委員会

地域で みんなが働きたくなる 仕事を考える





どんな声があった？ 意見交換での主な内容

■**働きやすい環境の整備**
・リモートワークや多様性への配慮が必要
・時代に合わせた仕事環境の変化が求められている

■**賃金・福利厚生の充実**
・魅力ある労働条件の職場が求められる
・条件面で魅力的な職場が少ない

■**仕事の魅力を伝える**
・大人が楽しそうに働く姿を子どもに見せることにより、仕事に魅力を感じてもらいたい

■**地元企業を知る機会**
・学校教育で地域にどのような仕事があるのかを子供たちに知ってもらう必要がある

■**遊ぶ場所の充実**
・レジャー・娯楽施設が少なく、遊びに行くには他市や県外に出向かなければいけないため、改善が必要

■**女性が活躍できる環境**
・女性の活躍が地域の活性化につながる



まとめ

仕事は生活を営む上で欠かせない要素の一つであり、多くの市民が魅力的な職場を求めています。

市は、企業誘致には既に力を入れて取り組んでいますが、地元企業が魅力的な労働条件や職場環境を提供できる環境を整備することも重要です。

そのため、今後も担当部署等との意見交換や情報収集を行い、また、地元企業や誘致企業とも意見交換による現状把握などにも努め、実現に向けて課題研究や調査を実施してまいります。



令和8年 第3回定例会

議案審議

ここでは、可決（同意）された主な議案や補正予算の主な事業などについてご紹介します。

8月27日から9月18日までの23日間の会期で第3回定例会が行われました。本定例会では、人事案件や条例の一部改正、補正予算などの議案、請願・陳情について審議しました。9月2日、3日に行われた一般質問では9人の議員が市政を問いました。

人事案件

●人権擁護委員の任命

高橋登茂子（新任／横堀）

高橋文子（新任／皆瀬）

児童生徒用パソコンの購入

●児童生徒用パソコン 計650台

・契約金額　4375万8千円

・契約相手　秋田県GIGA2．0R8C調達共同企業体

代表者　株式会社たなか

代表取締役　高橋昭尚



条例の一部改正

●湯沢市地区センター条例の一部改正について

湯沢市駒形地区センターの新設に伴い、所要の改正を行うもの

●湯沢市スキー場条例の一部改正について

サービス水準や安全性を維持し、持続可能な施設運営を確保するため、受益者負担の適正化の観点を踏まえ、使用料の見直しを行うもの。

■リフト券料金表

券種	一般	高校生・シニア・小中学生
1日券	2,030円	1,010円
4時間券	1,320円	710円
2時間券	1,010円	500円
ナイター券	1,520円	810円
午後とナイター券	2,030円	1,010円

一部抜粋

券種	一般	高校生及びシニア	小中学生
1日券	2,200円	1,300円	1,100円
4時間券	1,500円	900円	800円
2時間券	1,200円	700円	600円
ナイター券	1,700円	1,000円	900円
午後とナイター券	2,200円	1,300円	1,100円





令和８年 第３回定例会

令和８年度

一般会計　８億9,187万３千円の増額
（補正後の予算総額は、337億7,973万７千円になります）

特別会計　１億　255万７千円の増額
（補正後の予算総額は、120億2,601万８千円になります）

◆補正予算の主な事業◆

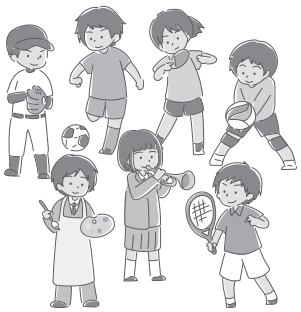
【補正予算　第２号】

▽保育所等物価高騰対策補助金
（こども未来課）　５８７万７千円
物価高騰の影響を受けている保育所等の負担軽減を図るため、給食費を補助するための経費の追加

▽有害鳥獣対策事業
（農林課）　２５０万円
ツキノワグマによる人身及び農作物の被害防止対策のため、電気柵の設置及びツキノワグマを誘引するおそれのある樹木の伐採に要する経費を補助するための経費の追加

▽まちトク消費喚起支援事業補助金
（商工課）　２，４００万円
物価高騰の影響を受けている地域経済の活性化を図るため、商店街等が行う消費喚起につながる取組の経費を補助するための経費の追加





▽中学校部活動地域展開推進事業（文化部）
（生涯学習課）　２３９万円
休日の部活動の段階的な地域展開に向けた環境整備を推進するため、吹奏楽部及び合唱部の地域展開に係る経費の追加

▽中学校部活動地域展開推進事業（運動部）
（生涯学習課）　７７万５千円
休日の部活動の段階的な地域展開に向けた環境整備を推進するため、野球部の地域展開に係る経費の追加

≪各会計補正予算≫

会計名		今回補正予算増減額
一般会計		8億9,187万3千円
特別会計	国民健康保険	2,807万9千円
	後期高齢者医療	459万9千円
	介護保険	5,123万1千円
	養護老人ホーム愛宕荘	△100万8千円
	皆瀬更生園	1,326万8千円
	湯沢財産区	284万9千円
	院内財産区	250万5千円
	秋ノ宮財産区	103万4千円

◆関係私企業との請負契約などの状況◆

湯沢市議会議員政治倫理条例等に基づく議員関係私企業との請負契約等及び請負単価契約の状況について、市長から報告がありましたので次のとおり公表します。

◆関係私企業との請負契約など

１　請負契約等の状況（１件あたりの額が30万円を超えるもの）
令和８年５月１日から令和８年７月31日までに締結したもの　　１件

〈関係する議員〉高橋　克己　〈請負人の氏名〉湯沢市スポーツ協会　会長　高橋克己

事業名	請負契約などの内容	請負契約などの金額	発注期日	納入期日など
湯沢市民総合スポーツ大会開催業務	市民総合スポーツ大会17競技種目の開催業務	657,800円	令和８年５月11日	令和９年３月31日

２　請負等単価契約の状況（契約期間終了後における支払総額が30万円を超えるもの）
令和８年５月１日から令和８年７月31日までに締結したもの　　該当なし

令和８年　第３回定例会　議決結果一覧表

○提出議案（18件）／8月27日上程　　9月18日議決

▼付託省略（２件）

番　　号	件　　名	議決結果
議案第88号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同　　意
議案第89号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同　　意

▼総務財政常任委員会 審査（１件）

番　　号	件　　名	議決結果
議案第90号	湯沢市地区センター条例の一部改正について	原案可決

▼教育民生常任委員会 審査（２件）

番　　号	件　　名	議決結果
議案第91号	湯沢市スキー場条例の一部改正について	原案可決
議案第93号	児童生徒用パソコンの購入について	原案可決

▼産業建設常任委員会 審査（１件）

番　　号	件　　名	議決結果
議案第92号	損害賠償の額の決定及び和解について	原案可決

▼予算決算常任委員会 審査（12件）

番　　号	件　　名	議決結果
議案第94号	令和８年度湯沢市一般会計補正予算（第２号）	原案可決
議案第95号	令和８年度湯沢市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	原案可決
議案第96号	令和８年度湯沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）	原案可決
議案第97号	令和８年度湯沢市介護保険特別会計補正予算（第２号）	原案可決
議案第98号	令和８年度湯沢市養護老人ホーム愛宕荘特別会計補正予算（第２号）	原案可決
議案第99号	令和８年度湯沢市皆瀬更生園特別会計補正予算（第２号）	原案可決
議案第100号	令和８年度湯沢市湯沢財産区特別会計補正予算（第１号）	原案可決
議案第101号	令和８年度湯沢市院内財産区特別会計補正予算（第１号）	原案可決
議案第102号	令和８年度湯沢市秋ノ宮財産区特別会計補正予算（第１号）	原案可決
議案第103号	令和７年度湯沢市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について	認　　定
議案第104号	令和７年度湯沢市水道事業会計未処分利益剰余金処分及び決算認定について	原案可決及び認定
議案第105号	令和７年度湯沢市下水道事業会計未処分利益剰余金処分及び決算認定について	原案可決及び認定

○請願（1件）

▼産業建設常任委員会 審査（１件）

番　　号	件　　名	議決結果
請願第１号	道路整備（拡幅・公道化）に関する請願書	採　択

○陳情（1件）

▼産業建設常任委員会 審査（１件）

番　　号	件　　名	議決結果
陳情第８号	インボイス制度の廃止をめざし、事業者の負担を軽減する経過措置を継続するよう求める意見書を国に送付することを求める陳情	採　択

○意見書案（1件）

番　　号	件　　名	議決結果
意見書案第５号	インボイス制度の廃止をめざし、事業者負担を軽減する経過措置を継続するよう求める意見書	原案可決



一般質問

9月2日・3日の本会議では一般質問に9人の議員が登壇し、活発な議論を展開して市政全般についてただしました。

各議員の一般質問の様子を、ユーチューブ動画でご覧いただける二次元コードを掲載していますので、ぜひご視聴ください。

議会傍聴はどなたでもご来場いただけます

当日の簡単な受付でどなたでも傍聴できますので、お気軽にいらしてください。





安心・安全な避難態勢の構築を！

◇複合公共施設「Yuinas（ゆいなす）」の運営と中心市街地の活性化について
◇災害への対応について
◇教育について



湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。

加藤（かとう）　昭嗣（しょうし）　議員

◆複合公共施設Ｙｕｉｎａｓの運営と中心市街地の活性化について

質問 産業建設常任委員会では鳥取県倉吉市の行政視察で中心市街地のグリーンスローモビリティー（ゴルフ用カートの大型版）を視察したが、本市での検討はできないか伺う。

答弁 積雪期の課題はあるが、市内の回遊手段として検討したい。

質問 大手ハンバーガーチェーンとの包括連携協定締結時期は。

答弁 開店が12月17日と伺っており同じ時期を予定している。

質問 各地域の歴史資料の特徴をどのように展示していくのか。

答弁 企画展や講演会を通じて紹介し、Ｙｕｉｎａｓをセンター拠点と位置付け、院内銀山異人館や稲庭城などのサテライト施設に訪れる仕掛けを作っていく。

◆災害への対応について

質問 指定避難所の数と冷暖房の整備状況、設置計画を伺う。

答弁 市内体育施設、小・中・高等学校、文化交流センター、地区センターなど34施設で、いずれかの部屋に冷暖房が整備されているが、体育館など指定している部分に限った見方では、整備されている施設は2か所となる。国では財政措置する方針であり、有利な財源を使い計画的に整備していく。

質問 例として旧三梨小学校の指定避難所としての評価を伺う。

答弁 保守、点検はしているが使用時に支障が生じることもあるので、ほかに指定避難所をあらためて指定するなどの見直しも検討している。

◆教育について

質問 今後の学校再編の検討状況について伺う。

答弁 総合的に判断した結果、皆瀬小・中学校をそれぞれ稲川小・中学校とできるだけ早い時期に統合する方針とした。

ひとこと

全国的に大規模災害が発生しています。今一度、防災意識を高めてまいりましょう。



令和8年　第3回定例会　一般質問

降雪による雪対策について問う



◇今冬の降雪による雪対策について
◇観光資源である温泉資源に対する考えについて
◇「湯沢市議会フォーラム2026」開催に伴う市民の声から

湯沢市議会 ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。

高橋（たかはし）　達（とおる）　議員

◆今冬の降雪による雪対策について

質問　雪下ろし共助組織に対しての補助金の在り方や今後の対応について伺う。

答弁　今後も、活動される皆様の声に耳を傾け、より効果的な支援が図られる制度となるよう検討していく。

質問　雪下ろし費用助成制度の検証等を踏まえた見直しや拡充についての考えを伺う。

答弁　高齢者世帯への雪下ろし費用助成は、平均雪おろし費用が人件費の上昇や物価高騰の影響により上昇傾向であることから、今後の社会情勢を勘案し助成金額の見直しを検討していく。

◆観光資源である温泉資源に対する考えについて

質問　温泉資源を基に営業している温泉事業者との関係性について伺う。

答弁　行政が温泉事業者を支援するという一方的な関係性だけではなく、行政と事業者が温泉資源をともに守り続けていく協力関係が不可欠である。本市にとって温泉事業者は、市の観光、地域経済をともに担っていく重要なパートナーで引き続き相互の協力のもと温泉資源を有効活用していく。

◆湯沢市議会フォーラム2026開催に伴う市民の声から

質問　セーフティーネットとしての医療体制をしっかり構築することも必要であるが、行政が市民に望むことの一番は何か伺う。

答弁　市民の皆様には生涯を健やかに、また、心豊かに暮らしていただきたいと考えている。



人財育成で元気な街に！



◇地域を支える人材の確保・育成について
◇災害に強い避難体制の整備について

湯沢市議会 ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。

寺田（てらた）　純二（じゅんじ）　議員

◆地域を支える人材の確保、育成について

質問　建設業・介護分野における人材不足について市長の見解を伺う。

答弁　建設業・介護分野が人手不足に陥っていることは、社会インフラの維持において深刻な問題と認識している。市としては、機械化による省力化や生産性の向上など、企業努力に対する支援を引き続き行っていく。

質問　建設業・介護分野における人材確保・育成を目的とした資格取得・技能取得に対する支援制度の有無について伺う。

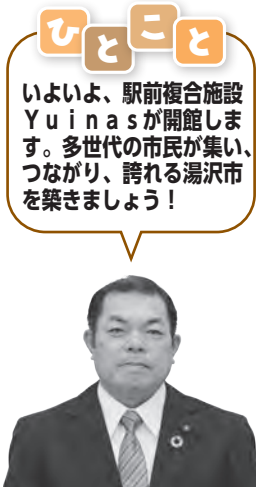
答弁　市内に事務所または事業所を有する中小企業者及び小規模企業者を対象に、ふるさと企業振興補助金により、資格取得や技能検定に要する費用を支援することで、人材育成をサポートしている。

◆災害に強い避難体制の整備について

質問　避難所となる地区センター等の受入体制や設備について課題がないか伺う。

答弁　現在、市内34か所の指定避難所のうち7か所の地区センター等が、指定避難所として指定されている。一部施設では、地域自治組織等と避難所の開設及び運営に関する協定を締結しており、災害発生時には地域の皆様に御協力をいただき行政と連携した避難所の開設をはじめとする運営体制を整えている。

　一方で、冷暖房設備や障がい者用トイレが整備されていないなど、受入環境に関する課題があると承知している。避難所利用者が、安心して過ごせる環境を確保するため引き続き環境改善に取り組んでいく。



令和８年　第３回定例会　一般質問

熱い思いをもって質問

◇どうする　小安峡大噴湯
◇どうする　湯沢市の観光誘客
◇どうする　熊対策
◇どうする　市民の声



湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。

渡部（わたなべ）　正明（まさあき）　議員

◆どうする　小安峡大噴湯

質問　兵庫県香美町の余部鉄橋に設置されているようなエレベーターが設置できないか伺う。

答弁　河原湯橋に設置するとした場合、水害対策、降雪期を含め維持管理が非常に難しく、自然公園法に基づく制約もあり、かなりの時間とコストを要するものと想定される。

◆どうする　湯沢市の観光誘客

質問　三途川経由地獄行きバスツアーが大好評を博したが、地獄から極楽へなど目玉商品を企画して観光誘客できないか伺う。

答弁　今回の実証の成果をもとにツアー会社と連携しながら興味を引く商品を造成していく。

◆どうする　熊対策

質問　本市のゾーニング管理について伺う。

答弁　捕獲活動を行う期間や捕獲を強化する場所、実施主体等を明記したツキノワグマ管理実施計画を策定している。県の設定基準に従い、人の生活圏地域の防除・排除地域から2㎞圏域の緩衝地域を管理強化ゾーンとして設定している。

◆どうする　市民の声

質問　老朽化した町内会館等の解体に対する助成について伺う。

答弁　解体に至る経緯、必要性、解体後の町内活動の在り方を含め、町内会館の現状を調査し、実態把握に努める。

質問　若い子育て世代を応援する日曜日や休日による放課後子ども教室の開設について伺う。

答弁　子育て支援総合センターで行っているファミリーサポートセンター事業をＹｕｉｎａｓで実施予定であり、担い手の確保も含め事業者と協議する。

ひとこと
全国に誇れる観光資源を磨いて観光誘客へ繋げよう



歴史教科書の採択について問う

◇中学校の歴史教科書の採択について
◇地元の事業者への支援について
◇予算編成について



湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。

佐藤（さとう）　広美（ひろみ）　議員

◆中学校の歴史教科書の採択について

質問　令和６年第８回湯沢市教育委員会の議案第20号の議事を秘密会とした理由について伺う。

答弁　議案第20号については、公正性を保つという観点から非公開とした。教科書の採択にあたっては、採択権者の判断と責任により、綿密な調査研究を踏まえた上で、公正性、透明性に疑念を生じさせることのないよう、適切に行われることが必要である。

　県内における教科書採択に係る会議の公開の状況は、各市町村の判断によるものであり統一されていないが、本市においては非公開としている。

質問　教科用図書の採択に関する議事を秘密会としたことによる、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第15条への対応について伺う。

答弁　当該法第15条において「教科用図書を採択したときは、遅滞なく、当該教科用図書の種類、当該教科用図書を採択した理由とその他文部科学省令で定める事項を公表するよう努めるものとする。」とあり、この趣旨を踏まえ、採択した教科用図書の種類及び発行者名について、市ホームページへの掲載等により、公表を行っている。

　教科書採択の理由については秘密会で非公開とし、公表はしていないが、文部科学省から努力義務通知が出ているため、今後は情報公開の在り方について検討し、特に非公開にする必要がないものは積極的に公開していきたい。ただし、発言した方が不利益を被ることがないよう配慮して開示に努めていきたい。

ひとこと
理由を公表すべきであると考え質問しました



令和8年 第3回定例会 一般質問

石川（いしかわ） 隆一（りゅういち） 議員



快適な住環境の回復へ

◇令和8年度の市税収入の見通しと税務行政の課題について
◇障害者就労継続支援B型サービスの現状と課題について
◇臭気対策について

湯沢市議会 ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。

◆令和8年度市税収入の見通しと税務行政の課題について

質問 26年産米の概算金が1万円も引き下げられ、農家は深刻な逆風にある。この実態を、今後の歳入にどう織り込むのか伺う。

答弁 令和6年と7年の比較では農業所得者は一人あたり約240万円の所得増であり、概算金低下や経費高騰による収入減少は、来年度の個人市民税や国保税に影響する可能性がある。

◆障害者就労支援B型サービスの現状と課題について

質問 国の指針では年齢上限はないが本市では独自の年齢制限を設けているか。

答弁 一律の制限はなく65歳以上の利用者もいるが、新規利用時は意欲や目的を確認し、就業日数の調整や居場所としての利用を希望する場合は「地域活動支援センター」など別の支援へつなぐ調整を行っている。

◆臭気対策について

質問 周辺住民は窓を開けられないなどの苦痛を長年強いられ、憤りは限界に達している。生活環境に与える影響について、市長の認識と今後の対策について伺う。

答弁 皆様が大変な思いをされている現状を重く受け止めている。8月から着手した環境測定調査で臭気の実態を数値として可視化し、事業者等と共有し、目標を見据え、早期改善に向け取り組む。

質問 委託業者の調査に対し、市職員が不定期に行うサンプル採取は、最終的な調査にどう反映されるのか伺う。

答弁 悪臭が不規則に発生した際、判定できる機会を可能な限り設けるため、市職員が機器を用いて機動的にサンプルを採取する体制を整えた。このデータも本調査の最終評価に反映させる。



高橋（たかはし） 肇（はじめ） 議員



安心して暮らせる湯沢を問う。

◇身寄りのない高齢者への包括的支援体制の構築について
◇災害時における人的受入体制と実効性について
◇人口減少を前提とした「スマートシュリンク」による持続可能な地域づくりについて

湯沢市議会 ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。

◆身寄りのない高齢者への包括的支援体制の構築について

質問 身寄りのない高齢者の実態と支援ニーズの把握状況について伺う。

答弁 人数等実態までは把握していないが、医療機関等からの相談や「未来ノート」の活用を通じ、支援ニーズの把握と早期相談に努めている。

質問 関係機関と連携しながら、個人情報に十分配慮した上で、高齢者の実態や、課題を把握する考えはないのか伺う。

答弁 本人から支援が繋がらない限り難しい状況であるが、相談があれば、その相談支援ニーズを踏まえ、実態把握はできると考える。

質問 関係機関と連携し具体的な課題や政策について議論を進めていくプロジェクトを立ち上げるべきと考えるが。

答弁 どのような形が一番現場として良いのかを検討し、今後の道筋をつけていきたい。

◆災害時における人的受援体制と実効性について

質問 災害対応業務ごとの必要人員と不足人員の事前把握について伺う。

答弁 災害時に必要な人員は最大1125人と想定しており、市職員だけでは対応が困難なため、平時から自治体や企業・団体等との連携強化に努める。

◆人口減少を前提とした「スマートシュリンク」による持続可能な地域づくりについて

質問 「スマートシュリンク」の考え方を第3次湯沢市総合振興計画に反映させるべきと考えるが所見を伺う。

答弁 「スマートシュリンク」の理念を根底に置きながら、将来にわたって持続可能で、市民が誇りを持てるまちづくりに全力で取り組む。



令和８年　第３回定例会　一般質問

市政の内実を問う！



◇台湾との交流事業について
◇自転車を取り巻く状況について
◇公共施設の管理について
◇人口減少とスマートシュリンクについて

湯沢市議会ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。

小松（こまつ）　雅（まさし）　議員

◆台湾との交流事業について

質問　継続して実施されている台湾との交流事業の目的と成果について伺う。

答弁　インバウンド誘客や本市産品の販路拡大に加え、青少年の国際感覚育成や本市の国際化や地域全体の活性化を目的とする。台湾からのインバウンド客の増加や、小中学生のスポーツ・文化交流や行政訪問団の来訪などにより行政間の実りある対話の進展につながると考える。

◆自転車を取り巻く状況について

質問　市民の自転車利用の実態と市の認識について伺う。

答弁　日常生活の重要な移動手段である一方、安全性の確保が重要であり、ルールの遵守とマナー向上、防犯登録や賠償保険加入を啓発していく。

◆公共施設の管理について

質問　問題が生じた際の情報共有方法や対応の仕組みについて伺う。

答弁　日常点検で確認した異常や故障は、組織の連絡系統に基づき報告、適切に処理している。緊急を要する場合は使用中止など安全確保を優先し、利用者への影響を最小限に抑えるため、早期復旧に努める。

◆人口減少とスマートシュリンクについて

質問　スマートシュリンクの考え方をどう認識しているか伺う。

答弁　人口が減っても経済社会に悪影響を及ぼさずに社会機能を縮小し、市民一人一人の幸福度が高まるような社会を目指す将来の持続可能なまちづくりを進める上で非常に重要な視点と考える。

ひとこと
的確な現状認識と、それに基づく取り組みを！



外部人材と職員との関係性・共創姿勢を問う



◇外部人材の活用と関係人口の創出・拡大への取組について
◇保険適用外の治療用ミルクに対する経済的支援制度の創設について
◇国際大会出場選手への渡航費等補助制度の創設について

湯沢市議会ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。

会田（あいた）　一男（かずお）　議員

◆外部人材の活用と関係人口の創出・拡大への取組について

質問　地域活性化策として移住・定住の促進において、地域課題を一緒に解決する頼れる仲間としての「関係人口」に期待が高まっているが、現状認識と所見を伺う。

答弁　外部人材の「地域おこし協力隊」の令和7年度までの委嘱者は24名で任期終了後の定住者は7名と全国的に見て、委嘱数・定着率も低く、課題と捉えている。地域を活性化するため、新たな仕組みも構築していく必要があるため、関係人口の拡大策は、極めて重要な取組と認識している。

◆保険適用外の治療用ミルクに対する経済的支援制度の創設について

質問　乳び胸（にゅうびきょう）の患者に対するMCTミルクなどの治療用ミルクに、新たな支援制度を国に先駆けて創設する考えがないか伺う。

答弁　公費による補助対象外となる多くの疾患がある中、特定の疾患のみを対象とする市独自の経済的支援制度の創設は難しいものと考えるが、国等に現行の代謝異常児等特殊ミルク供給事業の医薬品対象疾患拡大を要望し、指定難病の医療費助成を行う県に対しても働きかけていく。

◆国際大会出場選手への渡航費等補助制度の創設について

質問　「スポーツ立県あきた」を目指す県との協調の中で、費用分担も考慮した国際大会の渡航費等補助制度を創設する考えはないか伺う。

答弁　県の施策や支援制度の動向を注視し、対象とする競技や大会の範囲、県との連携の可能性を含め制度の方向性を調査し、スポーツ振興につながる支援の実現に向け議論していく。

ひとこと
基礎自治体は、国・県の下請機関ではない！もっと独自施策を模索しよう！



総括質疑

９月７日、令和７年度の決算について、予算決算常任委員会の総括質疑が行われました。

湯新会・公明１人、紫翠会２人、政和会１人の４人が会派を代表して質疑を行い、令和７年度の各決算の内容についてただしました。

ここでは、質疑の内容の一部を抜粋して掲載します。





［湯新会・公明］
柏原 久寿 委員

■決算概況について

質疑 **令和７年度決算を総括し、特に成果を挙げた施策とその理由を伺う。**

答弁 成果の判断に当たっては、市民満足度調査の結果を評価の基準とした。満足度の上昇率が高く、大きな成果を挙げたと評価する施策は、「まちの動脈となる道路等の整備」、「計画的な土地利用と市街地整備の推進」、「保育・幼児教育の充実と放課後児童の健全育成」の３つである。

質疑 **財政構造の改革の取組について、どのように評価しているか伺う。**

答弁 ＫＰＩの達成状況や個別施策の進捗を踏まえ、おおむね計画どおり順調に進展していると評価している。令和７年度末の地方債残高は、令和元年度末からおおよそ６％縮減を図ることができた。また、経常的繰出金は、目標値である８・41億円以下を３年連続して達成している。

■生活バス路線運行対策事業について

質疑 **乗合タクシー利用者の状況からの評価と近年の利用状況の推移を伺う。**

答弁 令和７年度の年間利用者数は令和２年度と比較すると５年間で９・８％の減となっている。利用者の要望を取り入れ、見直しながら運行しているが、燃料価格や運転手の人件費コストの増加等に伴い、市の負担金は高止まりしている。

質疑 **乗合タクシーの現行の運行方式をどのように評価しているか。**

答弁 予約制は最小限のコストで運行できる一方、事前予約が必要で、急な外出に対応しづらいなど一長一短がある。利用者のニーズと公共交通としてのサービスレベルのバランスを図りながら、持続可能な交通体系について検討を進めていく。

■有害鳥獣対策事業について

質疑 **実施隊員の確保が課題であるが、さらなる支援策をどのように構築していくのか。**

答弁 銃砲所持許可及び狩猟免許の取得や更新等に要する費用の助成等を継続するとともに、県の狩猟免許等取得支援事業の活用を周知し、新規の担い手の確保に努めていく。また、研修会や想定訓練等により、知見と捕獲技術等に習熟した隊員の育成を図っていく。

■自主防災組織推進事業について

質疑 **自主防災組織への交付金の使途と、今後の支援として必要なニーズの把握はどのように行っているか伺う。**

答弁 主な使途は防災訓練、避難誘導看板の設置、防災士認定講習などとなる。ニーズの把握については、防災講話や防災訓練等を通じて、地域防災に関する課題や必要な支援の把握を行っている。また、防災士からの意見などを研修会の場などで聞いている。



市内の自主防災組織の活動の様子

令和８年　第３回定例会　総括質疑



【紫翠会】
佐藤　愛子　委員

■移住・定住促進事業について

質疑　移住コーディネーターの人数は相談件数に見合っているのか伺う。

答弁　相談件数が増加傾向にあることに加え、市民満足度調査で移住・定住施策に対し大変厳しい評価がある。今後の事業展開によっては増員も選択肢の一つとして考えていく。

質疑　若者世帯に対する住宅取得支援制度の支援の在り方が非常に重要で利用者の意見を適切に取り入れていただきたいが、御意見を伺う。

答弁　昨年導入した事業でＰＲ不足も含め周知したい。また、今後の動向をしっかりと踏まえ喜ばれる制度にしていきたい。

■結婚サポート事業について

質疑　前年度と比較し、どのような効果や成果があったと分析しているか伺う。

答弁　各種支援制度への申請件数は減少しているが、若者世代へのライフプランセミナーを開催しており、前向きに将来を描き安心して一歩踏み出せる環境づくりの推進が図られた。

質疑　婚活・結婚によって市に住んでもらうことまで見据えていただきたいが考えを伺う。

答弁　婚活では、価値観への配慮も必要だが、市で結婚・子育てをしてよかったと思ってもらえるよう実際にどのように行動できるか一緒になり考え実行していければと考える。



【紫翠会】
藤田　健志　委員

■地域自治組織支援事業について

質疑　地区センター整備について、どのように考えているのかを伺う。

答弁　地区センターは、地域づくりの拠点として様々活動をして頂いている。活用可能な施設は、活用し、場合により解体し新築する選択をしながら、整備を進める。駒形町、稲庭町、弁天、山田など、計画的に、整備を進めていきたい。

■地域おこし協力隊事業について

質疑　募集時に、業務内容をピンポイントに絞って募集することについて考えを伺う。

答弁　今までも絞ってきたが、マッチングに時間を要する事例があり、昨年度は年間1人を追加し配置する目標が達成できない状況であった。今後、ピンポイントや仕組みそのものを再検証する等、見直しが必要だと考える。

質疑　隊員の効果的な活用について考えを伺う。

答弁　協力隊の方々は、我々にはないスキルを持ち、外から湯沢市を見る目を持って事業を協力して展開できる点では、ありがたいが、任期終了後の募集等のあり方などを含め協議し取組みたい。





【政和会】
寺田　純二　委員

■地域自治組織支援事業について

質疑　湯沢地区7地区の組織に対する事務負担分として、それぞれ10万円が交付されているが、事務に携わる者の負担や、近年の物価高騰による経費の増加なども考慮し、今後、交付額の増額を検討する考えはあるのか伺う。

答弁　湯沢地区事務加算分は地区センターが未設置の地区組織を運営するため、地域の人材等によって自主的な組織運営を担っていただくための財政的支援として位置づけている。事務加算分は、地区組織における運営基盤の維持に不可欠な経費であると認識している。

今後の対応において、各地区組織が直面している事務負担の実態や運営状況をしっかりと把握、注視した上で、交付金の在り方にとどまらず、事務効率化に向けた伴走支援など、どのような手法が最も効果的な支援であるか、関係者と十分に協議を重ねて検討していく。

私たちは市民に身近で信頼される開かれた議会づくりを進め、

次世代に残したいホワイトな湯沢市議会実現のために行動します！

専門性、多様性、包摂性、働きがい、働きやすさなどを備えた、持続可能でホワイトな湯沢市議会(※1)を実現するための行動指針を定めました。湯沢市議会は、この指針に従い行動します。
なお、この行動指針の内容は、実行しながら改善を繰り返し取り組みます。

湯沢市議会行動指針
ホワイトコード

1　議員は、年間少なくとも 10 時間以上を、議長により認められた研修に充てるものとする。

2　委員会は、各定例会の常任委員会及び予算決算分科会の会議ごとに「会議の貢献度評価」を行い、協議により委員１人以上を選定のうえ、最終日の全員協議会の場で理由を付して報告する。

3　議員は、議場外における自らの議会、その議員、その事務局に関する発言や行動について、常に議事機関の構成員であることに配意し、自らと議会の品位保持に努める。

4　議会の会議、打ち合わせ等協議は、原則として金曜日には充てないものとする。

5　新規又は追加提案される議会活動及び現に行われている議会活動について、議会事務の統括者である議長は、適正な業務量を維持するため、随時に議会運営委員会へ諮問したうえで、開始、縮小又は廃止を決定する。

具体的な取組
・議員専門セミナー研修や、財政・EBPM(※2)・政策立案等の研修を受講し、議員の資質向上と研鑽に努めます。

具体的な取組
・委員会における議員間討議を充実し、市民のための政策提言につなげます。
・委員会の会議ごとに振り返りを行い、知見の蓄積と改善に努めます。

具体的な取組
・コンプライアンスに関する研修や事例検証を行い、品位保持に努めます。

具体的な取組
・議会の働き方改革を進め、ホワイトな環境をつくります。
・委員会の会議において、活動等の業務量について適宜話し合いを行い、必要に応じて議長へ報告します。

改　善

市民に身近で信頼される開かれた議会



※1　ホワイトな湯沢市議会とは、次世代に残したい議会のあり方を表現したもので、ワーク・ライフ・バランスの充実やダイバーシティの推進などの面で優れ、さまざまな背景を持つ従業員が共に働きやすい職場環境と従業員の健康や人材育成の制度が整っており、従業員の満足度や企業の生産性の向上につながっている企業、いわゆるホワイト企業を参考にしています。

※2 Evidence-Based Policy Makingの略。政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠（エビデンス）に基づくものとすること。

湯沢市議会地熱利用調査促進議員連盟

自主研修会を開催しました

◉日時：令和８年７月22日（水）　◉会場：湯沢市役所
◉内容：地熱を活用したまちづくりについて


新得町議会の皆さんと、湯沢市地熱議連会員


地域資源“地熱”を改めて学ぶ地熱議連会員

この度、北海道新得町議会の皆さんが「湯沢市の地熱を活用したまちづくり」を調査事項として行政視察に来られることとなり、新得町議会　長野議長様のご配慮を賜り、湯沢市議会地熱議連の会員が自主研修として参加させていただきました。

当日は、湯沢市の担当者による説明の後、地熱という同じ地域資源を持つ自治体の議員同士で意見交換の場面もあり大変有意義な時間となりました。

地熱開発にどう向き合っていくのかを学ばれている姿は、この湯沢市でも、新人議員をはじめ全議員が改めて、心に保持するべき点でありました。

※湯沢市議会地熱利用調査促進議員連盟：「湯沢市が持つ豊かな地熱資源を有効に活用する施設（地熱発電所）の建設促進等を図り、産業の振興により、市民の生活維持向上に寄与する」ことを目的として組織、議員全員が所属する。

新得町議会の皆さんありがとうございました。

議会からのお知らせ

▽会派構成の変更

9月30日、「紫翠会」の所属議員の変更と役職の変更の届出がありました。

会派の構成は左表のとおりです。

【紫翠会】	
代表	藤田健志
副代表兼幹事長	高橋達
幹事	佐藤広美
幹事	小松雅
監事	大山豪
（10月1日現在）　5人	

▽広報広聴副委員長の変更について

佐藤愛子議員の逝去に伴い、広報広聴委員会の欠員が生じましたので、10月7日、議長から大山　豪議員が補充の委員として指名されました。

また、委員会における互選により、大山　豪委員が新たに広報広聴副委員長になりました。

佐藤愛子（さとうあいこ）議員　逝去



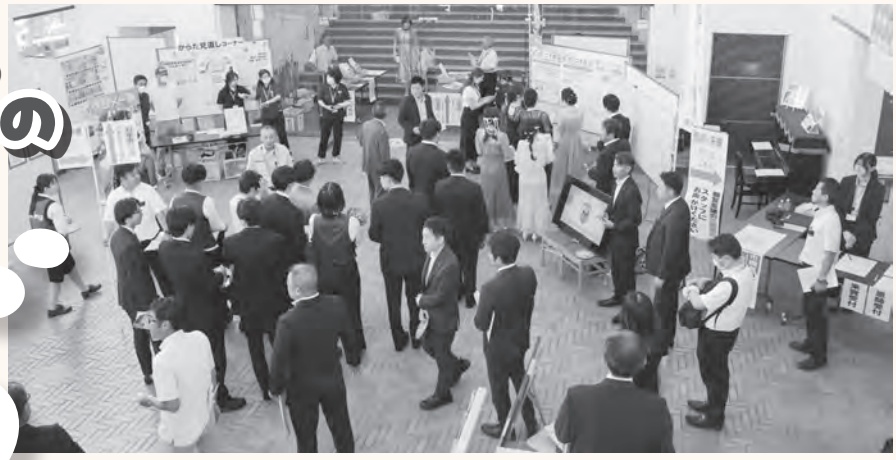
去る9月20日に、佐藤愛子議員（山田・47歳）が逝去されました。

故佐藤議員は、令和3年4月に初当選し、総務財政常任委員会副委員長などを歴任され、本市の発展に貢献されました。

ここに故人のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈りいたします。



祝！二十歳！二十歳のみんなの声を聞かせて



まちなかプチ議会 in二十歳を祝う会を開催しました

日時：令和８年８月15日（土）
会場：秋田エプソンゆざわホール（湯沢市文化会館）

湯沢市二十歳を祝う会の参加者を対象に、湯沢市に関するアンケート、意識調査を行いました。二十歳という人生の節目に、ふるさと湯沢市の未来を考えるアンケートに協力いただきました。

一つ一つの設問に真剣に向き合う姿勢が印象的でした。

湯沢市議会は若年層の声を聴き、議会活動に活かしていきます。



お祝いの言葉かけをしながら、シールを配る議員





地域へのエールを書いてくれる若者も





シールを貼って、アンケートに答える若者たち



たくさんの若者が足をとめて協力してくれました

今回二十歳のみなさんにご協力いただいたアンケート

湯沢市のPR・情報発信に満足してる？



楽しみながら健康づくり！どんなふうにやってみたい？



仕事を選ぶときに、一番「譲れない条件」は？





まちなかプチ議会は、市内のイベントに合わせ開催しております。お見かけの際は、ぜひ声をきかせてください。



今後に向けて

今回いただいた声を活かし、若者の皆さんをはじめ、進学や就職で一度湯沢を離れた方々にも、また湯沢で暮らしたい、湯沢で働きたいと思ってもらえるようなまちづくりをしていきます。若者の皆さんにも今後の取り組みにぜひ注目していただくとともに、議員に対しましてご遠慮なく意見をきかせてください。

ご協力いただいた二十歳の皆さんありがとうございました

PICK UP!

No.06 ★★★ 宮原（みやはら） 晃（あきら）議員の視点



伝統的工芸品等産業支援事業

今回で第31回となる川連塗りフェアを視察し、産地メーカー・販売店各社が自慢の商品を揃えている状況を確認してきました。

職人の後継者不足が課題となってきていますが、伝統を継承していくため、後継者育成と積極的に産地支援をしていただきたいです。

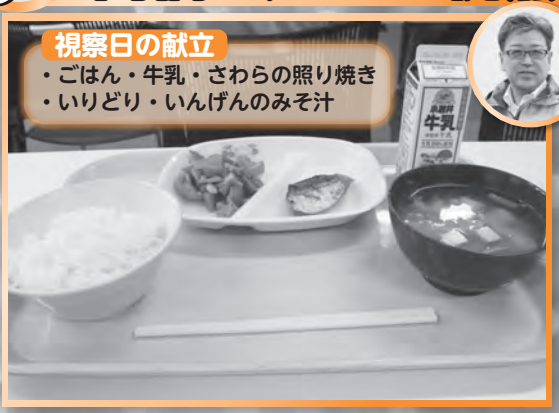
伝統継承度：★★★★★

令和8年度当初予算額　410万９千円

歴史度：★★★★★

PICK UP!

No.07 ★★★ 高橋（たかはし） 達（とおる）議員の視点



学校給食センター経費

学校給食センターを視察し、給食の提供状況や質・量、安全性、そして導入された川連漆器食器の運用状況を確認しました。

給食無償化後も質・量とも落とさず、安心・安全な給食の提供とフードロス削減を進め、漆器食器を通じた郷土愛の醸成を期待します。

期待度：★★★★★

令和8年度当初予算額　４億2,943万３千円

郷土愛度：★★★★★

広報広聴委員会 行政視察報告　10月８日㈭～９日㈮

●神奈川県足柄上郡開成町（かながわけんあしがらかみぐんかいせいまち）「議会広報の取組について」

開成町議会では、議会だよりを中心とした従来の広報活動に加え、議会独自のＷｅｂサイトや動画の活用、本会議のライブ配信・録画配信など、多様な媒体を通じた情報発信に取り組んでおり、全国的にも先進的な活動を展開している。

今回、こうした広報広聴活動の具体的な取組内容や運営体制、成果等について学ぶため、行政視察を行った。

開成町議会では、議長を除く全議員が広報広聴委員として活動し、動画の撮影や議会だよりの編集作業などを議員主体で行っていた。



また、Ｗｅｂサイトでは、目的のコンテンツに２クリックでたどり着くよう、利用者の視点に立った使いやすい構成を意識している。さらに、動画を流行に合わせた縦型にして視聴回数の増加を図るなど、町民の議会への関心を高めるため、さまざまな工夫を凝らしていた。

これらの取組は、当市議会の広報広聴活動を充実させる上で大いに参考となるものであり、今回の視察で学んだことから、知見や工夫を取り入れ、今実施している活動を見直し、より効果的な広報広聴活動となるよう改善を図りたい。



議会のうごき　7月･8月･9月

7月８日　教育民生常任委員会委員協議会
7月11日　議会フォーラム2026
7月14日　埼玉県白岡市議会・蓮田市議会行政視察受入
7月15日　広報広聴委員会
7月22日　北海道新得町議会行政視察受入、湯沢市議会地熱議連自主研修、教育民生常任委員会委員協議会
7月23日　第１回秋田県市議会議長会定例会（能代市）
7月27日　産業建設常任委員会委員協議会
8月３日　８月期月イチ😊オンラインミーティング
8月10日　秋田県後期高齢者医療広域連合議会８月臨時会
8月12日　全員協議会、広報広聴委員会
8月15日　湯沢市二十歳を祝う会、まちなかプチ議会in二十歳を祝う会
8月20日　議会運営委員会
8月21日　湯沢市議員互助会役員会、議会改革研修会
8月27日　本会議（開会）、総務財政・教育民生・産業建設常任委員会委員協議会
8月28日　広報広聴委員会
8月31日　本会議（質疑・付託）、総務財政常任委員会委員協議会
9月２日　本会議（一般質問）
9月３日　本会議（一般質問）、Yuinas現場説明会
9月７日　予算決算常任委員会全体会（総括質疑）
男鹿市議会行政視察受入
9月８日　予算決算常任委員会分科会（決算審査）
9月９日　予算決算常任委員会分科会（補正予算）、総務財政・教育民生・産業建設常任委員会、教育民生・産業建設常任委員会委員協議会
9月14日　予算決算常任委員会全体会、総務財政常任委員会委員協議会
9月17日　議会運営委員会
9月18日　本会議（閉会）、議員全員協議会

議長交際費(7月･8月･9月)

支出区分	内訳	件数･個数	金額（円）
会費	秋田エプソン株式会社設立四十周年祝賀会会費ほか	10	93,000
弔慰	佐藤愛子議員死去　弔慰金	1	20,000
賛助	七夕絵どうろうまつりコンクール優秀賞寄贈	1	20,000
接遇	埼玉県白岡市議会・蓮田市議会、北海道新得町議会来湯時の歓迎酒代	1	4,780
合計		13	137,780

※各項目の詳細については、市ホームページをご覧ください。

■ご意見等をお寄せください。

●湯沢市議会に対してのご意見・ご質問などどのようなことでも結構です。寄せられた内容に関しては、議会活動の参考とさせていただくほか、市議会だよりやその他の媒体で紹介させていただく場合があります。

提出方法

郵　送：〒012-8501
湯沢市議会事務局　宛（住所不要）
ＦＡＸ：0183-72-3780
メール：gikai@city.yuzawa.lg.jp
※ 右のQRコードから入力フォームでも提出できます。

12月定例会の日程（予定）

11月30日	本会議　開会（議案上程、提案理由説明）
12月２日	本会議　（議案質疑・付託、請願・陳情付託）
12月７日	本会議　一般質問
12月８日	本会議　一般質問
12月９日	（一般質問　予備日）
12月10日	常任委員会・分科会
12月11日	（常任委員会　予備日）
12月15日	予算決算常任委員会（全体会）
12月18日	本会議　（採決）閉会

※日程については変更になる場合がありますので、ご了承ください。

■請願･陳情の提出締切は11月20日(金)午後5時

■議会傍聴について

●本会議や委員会は当日の受付で、どなたでも傍聴することができます。開催当日、市役所本庁舎４階の議会事務局窓口までお越しください。

■議会中継について

●本会議の模様を湯沢市議会ユーチューブチャンネルでインターネット配信（ライブ・録画）をしていますのでご覧ください。

秋田県湯沢市議会
ユーチューブチャンネル

広報広聴委員会

委員長　高橋　大輔
副委員長　大山　豪
委員　佐藤　勝晃
委員　宮原　広美
委員　佐藤　克己

編集後記

湯沢市議会、新人２名、元職１名、現職15名でスタートし、早一年が経過しましたが、９月20日に志半ばで他界された広報広聴委員会　副委員長の佐藤愛子議員に対しましては、深い敬意と哀悼を捧げ、安らかな旅立ちを祈るばかりであります。

ここまで、議会改革を引き続き進めながら、市民と共に歩む市政を念頭に各議員が、それぞれのスタンスで活動してきたものと思いますが、いかがでしょうか。

議員一同、今後も引き続き市民の皆さまから市政に不足する点などのご意見を賜り、さらに住みよい街づくりへ気持ちを新たに取り組んでまいります。

（高橋　克己　記）